

(中略)道路として本格的に利用される様になったのは、中央に二車線の舗装がされてからで、戦後長い事じみちのままだった」とありますが、1956(昭和 31)年発行の『鶴橋小学校八十年の歩み』には「最近舗装されて交通量が多くなって来た」と記載されていますので、1955(昭和 30)年前後に現在の状態に近くなったようです。

『東成区史』大阪都市協会編 東成区制七十周年記念事業実行委員会 1996

*ID 0000623493 p.294～295

『猪飼野郷土誌』猪飼野郷土誌編集委員会編 猪飼野保存会 1997

*ID 0000607782 p.125

『鶴橋小学校八十年の歩み』大阪市立鶴橋小学校八十周年記念誌編集委員会編 大阪市立鶴橋小学校八十周年記念祝賀委員会 1956

ID 0000357748 p.22

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「生野区」→『疎開道路について』

この調べかたガイドでは、生野区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

生野図書館に所蔵しているものは、IDの前に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド: 各区版 生野区の調べかた

生野区の史跡・名勝・建築—つるのはし—

生野区の人物・伝説—生野長者—

生野区の民俗・文化—コリアタウン—

生野区を知る—疎開道路—



大阪市立生野図書館

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4-7-11

TEL 06-6717-2381

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

調べかたガイド：各区版

生野区の調べかた

Ver. 2 2014. 08改訂

生野区の史跡・名勝・建築—つるのはし—

『生野区誌』名所旧蹟の章ほか複数の資料に、文献にでている日本最古の橋である猪甘津(いかいのつ)の橋の古跡として紹介されています。中でも『猪飼野郷土誌』は、つるのはし史跡公園完成を記念して刊行されたもので猪飼野の歴史とともにつるのはしについて詳しい説明があります。

つるのはし史跡公園の所在地は、生野区桃谷三丁目で顕彰碑がたてられています。写真は、生野区役所のホームページにも紹介されています。

『生野区誌』生野区創設十周年記念事業実施委員会編 大阪市生野区役所 1953

*ID 0000244943

『猪飼野郷土誌』猪飼野郷土誌編集委員会 猪飼野保存会 1997

*ID 0000607782

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986

ID 0000214926

『大阪春秋 37号 大阪の史跡と碑 続編』大阪春秋社 1983

ID 0070054192

『大阪春秋 92号 大阪環状線』大阪春秋社 1998

*ID 0000698325

生野区役所ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/>

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「生野区」→「つるのはしについて」

生野区の人物・伝説—生野長者—

用明天皇の時、生野長者という富豪がいました。子どもが生まれましたが、いくつになっても話すことができず、長者は深く悲しみました。あるとき長者は子どもを連れて、四天王寺の建立のため訪れていた聖徳太子に会いに行きました。太子がその子に向かい「前世に預けた三つの毘婆尸(びばし)仏の舍利を返しなさい」と言うと、その子は三つの仏舍利を吐いて太子に奉り、話すことができるようになりました。太子は仏舍利の2粒を四天王寺と法隆寺に納め、残り1粒を長者に渡しました。長者は感謝してその舍利を納めるためにお堂を建立し、舍利寺と名づけました。

『浪速叢書 7 摂津名所図会巻之6』船越 政一郎編纂校訂 浪速叢書刊行会 1927

*ID 0000329652

『東成郡誌 上巻』東成郡役所編 名著出版 1972

*ID 0070093555 p.501～502

『生野区誌』大阪市生野区役所 1953

*ID 0000244943 p.225～226

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986

ID 0000214926

『大阪人物辞典』三善貞司編 清文堂出版 2000

*ID 0000832804

『郷土誌生野 8号より 舍利寺の石造物』加藤 政一[執筆] 郷土誌いくの刊行会 [1991]

*ID 0090011434

生野区の民俗・文化—コリアタウン—

生野区は、外国人登録数は全市第1位で、区民の4人に1人は外国籍住民です。なかでも、韓国・朝鮮系の商店は、地元に住む人々の暮らしに欠かせない伝統食材や生活用品を扱っています。また、大規模な市場を形成しており、地元だけでなく、各地からの多くの観光客でにぎわっています。

御幸森天神宮から東へ約500メートルのびる「御幸通商店街」は、1993年からコリアタウンと呼ばれています。鶴橋、桃谷およびその周辺の商店街とともに異国情緒たぐやう、活気ある街として存在をアピールしています。

『大阪コリアタウンまるわかりガイド』あんそら著 メイツ出版 2011

*ID 0012410325

『コリアタウンに生きる』高賛侑著 エンタイトル出版 2007

*ID 0011412261

『パノラマウォーク大阪の商店街 下』大阪市商業振興企画株式会社企画・編集 大阪市経済局 [1999]

*ID 0000746806

『いくのトライアングル・タウンMAP』大阪市生野区役所[2007]

*ID 0011382216

生野区役所ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/>

生野区を知る—疎開道路—

御幸森神社の前を南北に通っている、豊里矢田線(旧中道桑津線)の通称です。『東成区史』によると「第三次都市計画事業として計画決定した中道桑津線は、市内空襲の可能性が生じてきたため、昭和十九年に決戦態勢の一環として緊急に建物疎開(強制除去)が執行され、一般に疎開道路といわれた。」とあります。また『猪飼野郷土誌』には「終戦直後の疎開道路は、まだ割れた瓦と壁土で蒲鉾型に盛り上がった幅広い、自転車も通りにくい荒れた道で、子供等の遊び場にすぎなかった。